

3-1 避難所開設・運営訓練（地震災害）

避難所開設から運営までの一連の流れを、参加者で役割分担や連携しながら実施し、組織的な対応力の向上を図ります。



訓練の概要

本訓練は「訓練（実働）＋ふりかえり」形式で、次の内容を中心に行います。

実施内容	● 訓練 「避難所の開設」「運営組織の設置」「運営」 ● ふりかえり「訓練」をふりかえる	所要時間	170分
実施場所	● 地震災害時の避難所施設（活用予定の避難スペース）		

訓練に向けた準備

訓練の実施に向けて「実施場所」を確保するとともに、次の必要な「人員」や「資料物品」を確保・準備します。

必要な人員	<p>次の役割を担う人をあらかじめ確保します（状況により兼務可能）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 司会者：1名 / 訓練当日の司会進行（必要に応じて写真記録等を行う）。 ● 進行役：1名 / 説明、各訓練の時間管理と進行。 ● 避難所開設・運営の予定メンバー / 避難所の開設・運営対応。 ● 避難者役：5名 / 配慮が必要な避難者の役（避難者役カードを活用）。 <p>※司会者や進行役は、地域の自主防災組織リーダー、広島県避難所開設・運営訓練アドバイザー、市町職員、施設管理者などをお願いします。</p>
-------	--

必要な資料物品	<p>次の資料について、参加人数分を用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所開設・運営マニュアル：組織体制図、避難所レイアウト図、備品一覧、備蓄品一覧、建物の安全点検様式、避難所利用者登録票、退所届、避難者名簿、関係機関連絡先一覧表を含む※。 ● 状況付与資料：訓練時の災害状況等をまとめた資料。 <p>次の資料・物品について、必要な分を用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● （避難所開設用）筆記用具、感染症対策資材、避難所開設を示す看板等。 ● （情報活動用）情報掲示板、拡声器。 ● （環境整備用）電気、水道、電話、空調等の代替手段となる設備等。災害用トイレ、トイレの備品。 ● （要配慮者用）段ボールベッド、毛布等。 ● 提供する情報サンプル：情報板に掲示、拡声器等で連絡する情報サンプル。 ● 避難者役カード：避難者役の特性や要望をまとめたカード。 <p>※「避難所開設・運営マニュアル」については、広島県「避難所開設・運営マニュアル（標準版）」を活用できます。</p>
---------	---

訓練実施の流れ

01 訓練概要の説明 所要：20分

【司会者】本訓練の目的と内容、スケジュール、訓練にあたっての前提条件説明する。
目的：地震時の組織での「避難所開設・運営の進め方」を理解すること

「避難所」の入り口（外部）に集合！

02 訓練「避難所の開設」 所要：60分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル ● 避難所開設用の備品

【進行役】「訓練開始」を宣言し、次の活動を役割分担しながら順番に行うよう呼びかける。

1. 施設周辺及び建物外観の点検 15分（取り組み内容はp57参照）
2. 内部の安全点検 15分（取り組み内容はp57参照）
3. 避難所開設準備 10分（取り組み内容はp61参照）
4. 避難者の受付・誘導 20分（取り組み内容はp65参照）

避難所運営本部に集合！

03 訓練「避難所運営組織の設置」 所要：10分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル

【進行役】「避難所運営組織の設置」を宣言し、次の取り組みを実施するよう呼びかける。

1. 本部運営組織の人員の確保 5分（取り組み内容はp69参照）
2. 本部運営組織の確立 5分（取り組み内容はp69参照）

各班で役割分担して避難所運営を実施！

04 訓練「避難所運営」 所要：各50分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル ● 要配慮者用の物品
● 情報活動用の物品 ● 提供する情報サンプル
● 環境整備用の物品 ● 避難者役カード

【進行役】「各班で対応開始」と伝え、次の取り組みを実施するよう呼びかける。

- 1-1. 総務班「名簿作成と更新の手続き」 40分（取り組み内容はp73参照）
 - ▶ 避難者名簿の作成までの訓練（「02『名簿作成と更新の手続き』1～3」）を実施
 - ▶ 要配慮者の数と特性等の情報のとりまとめを、要配慮者支援担当班と協力して実施
 - ▶ 避難者役からの相談対応を受付で実施
 - ▶ 避難所運営会議で、避難者数と要配慮者の数、相談内容と対応状況を報告
- 1-2. 情報班「情報掲示板の設置と情報提供」 40分（取り組み内容はp75参照）
 - ▶ 物資配布についてのアナウンスは、物資担当班に配布方法や時間を確認して実施
 - ▶ 避難所運営会議で、情報活動の実施状況を報告
- 1-3. 生活環境管理班「ライフラインの点検 / 代替手段の確保」 40分（取り組み内容はp79～83参照）
 - ▶ ライフラインと代替設備の稼働状況を取りまとめ、避難所運営会議で報告
 - ▶ 災害用トイレの使用ルールを確認し、手書きでチラシを作成、情報活動班に掲示してもらう
 - ▶ 避難所運営会議で災害用トイレの設置状況と使用ルールを報告
- 1-4. 食料・物資班「備蓄物資と保管場所・受入れ場所の確認」 40分（取り組み内容はp95参照）
 - ▶ 食料・物資の配布ルールを確認し、情報活動班に報告
 - ▶ 避難所運営会議で備蓄物資の品目と数を報告
- 1-5. 避難者健康支援班「要配慮者への対応」 40分（取り組み内容はp111参照）
 - ▶ 訓練の「03『要配慮者への対応』」を実施
 - ▶ 要配慮者に直接聞き取り等をして、避難者の管理担当班と、要配慮者の数と特性を情報収集
 - ▶ 避難所運営会議で要配慮者の特性と、対応状況、必要な支援等について報告
2. 避難所運営会議の実施 10分
 - ▶ 運営組織の代表・副代表と、各担当班の班長が集まり、各担当班からの報告を実施

05 ふりかえり「訓練」をふりかえる 所要：30分

【進行役】次の流れで、参加者全員による訓練のふりかえりをする。

1. 各参加者の活動内容に対する気づきや反省点について意見交換してもらう。
2. 最後に、避難所開設・運営には、避難者を含めた地域住民、市町職員、施設管理者の協力・連携が不可欠であることを伝える。

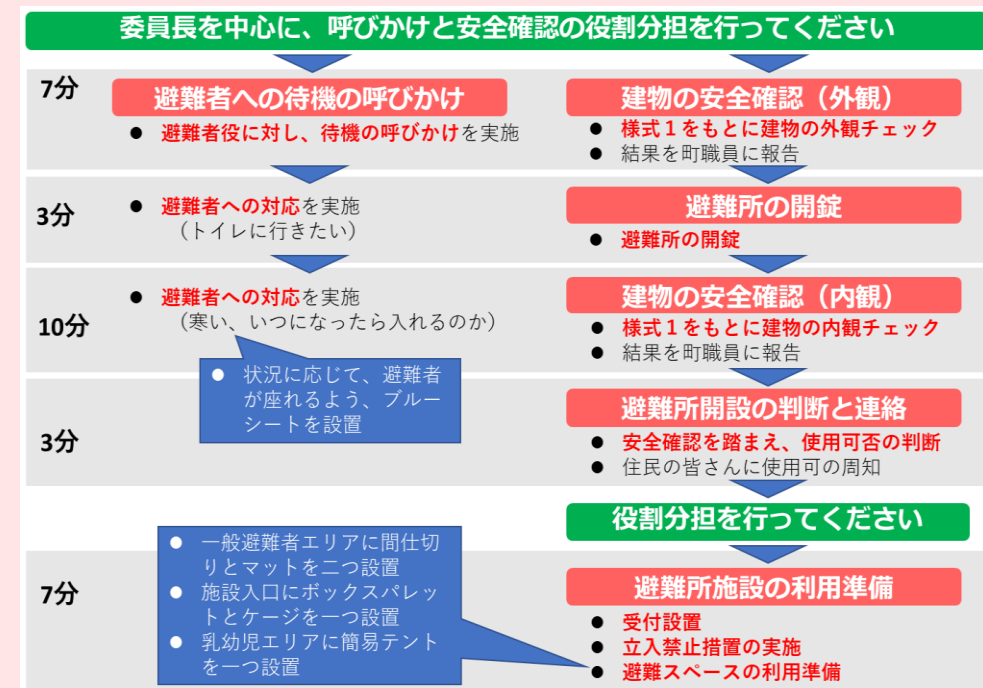
総合防災訓練：熊野東防災交流センターの実施例

熊野東防災交流センターでは、地震発生時の、避難所開設から避難所運営までの一連の流れで訓練を実施しました。

- 地域住民、熊野町職員、施設管理者で役割分担を決め、建物の安全点検、避難所開設の判断をし、避難所の開設準備、避難者役の受付をしました
- 避難者役を受付・誘導するにあたっては、避難者の特性に応じ、車いすを用意する等の対応をしました。
- 避難者を受け入れた後は、全員で集合し、会長、副会長を中心に、避難所運営の役割分担を決めました。
- 役割分担後、各班に分かれて、それぞれに活動を行いました。
- 各班の活動には、町職員や施設管理者がつき、それぞれに対応や手順、連携や協力の仕方等について、話し合いながら行いました。

時間	所要	内容
13:30~13:45	15分	・あいさつ ・訓練の全体の流れの説明 ・訓練の前提条件の説明
13:45~13:50	5分	移動
13:50~14:35	45分	【訓練】避難所開設 ・開設準備 (30分) ・避難者の受入れと誘導 (15分)
14:35~15:35	60分	【訓練】避難所運営 ・避難所運営委員会の立上げ (10分) ・各運営班の対応 (50分)
15:35~15:45	10分	休憩
15:45~15:55	10分	意見交換 (ふりかえり)
15:55~16:25	30分	ワーク
16:25~16:30	5分	今後の進め方

避難所開設・運営訓練スケジュール例



避難所開設訓練の実施の流れ例

訓練概要の説明

訓練を実施する前に、まず全体で、訓練の内容や、想定される地震の状況（訓練開始時の条件）について、確認しました。

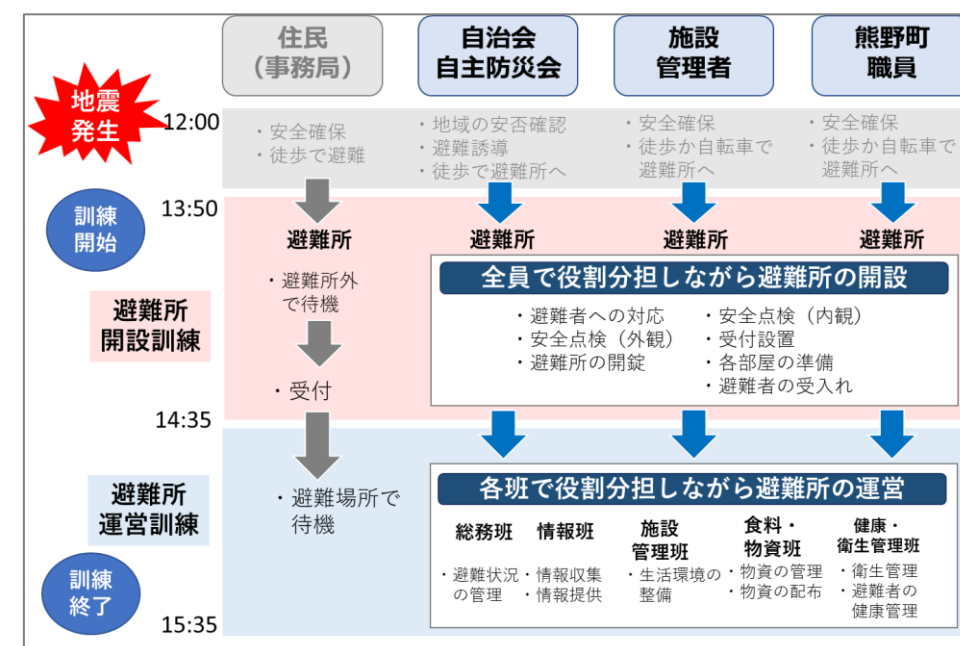
- まず、避難所開設・運営の全体の流れを確認したあとで、どこを訓練するのかを説明しました。
- 想定される地震の状況（訓練の前提条件）については、ハザードマップをもとに、地域にどのような地震が発生する可能性があるかを説明しました。
- 地域の地震の状況を踏まえ、地域住民、市町職員、施設管理者が、どのような動きをするかについての想定を説明しました。
- また、地域の地震の状況を踏まえ、施設がどのような状況にあるかについての想定を説明しました。
- さらに、地震発生後に、避難者がどのような状況にあるかについての想定を説明しました。

■災害の状況
地震の発生：10月29日（土）12時00分
最大震度：震度6強

■施設の状況
熊野東防災交流センターがたまたま休館しているところに地震が発生

■避難・参集の状況
避難者の状況：複数名が避難所に避難してきたところ
※避難者役は要配慮者（車いす）1名、乳幼児同行者1名、ペット同行者1名を設定
※避難者役は熊野町職員1名、広島県職員1名、SC社員1名が実施
役員の状況：地域での安否確認や避難誘導等の対応を済ませ、ちょうど避難所にやってきたところ
町職員の状況：ちょうど徒歩で避難所にやってきたところ
施設管理者の状況：ちょうど徒歩で避難所にやってきたところ

地震発生時の状況例



地震発生時の各主体の状況と活動の流れ例

避難者の管理

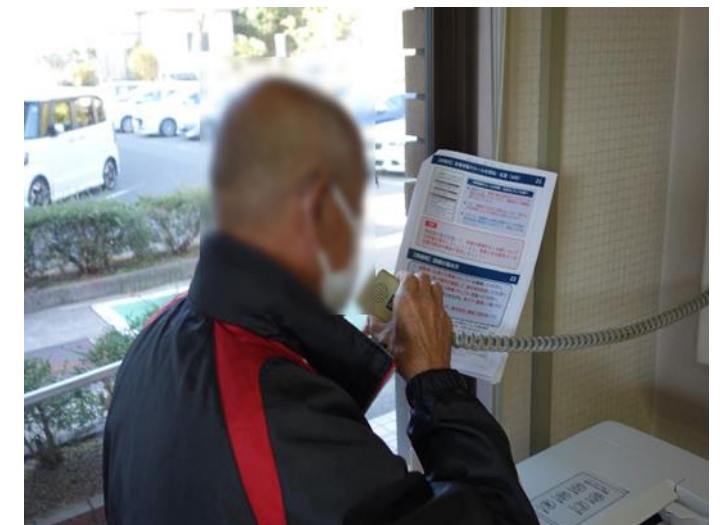
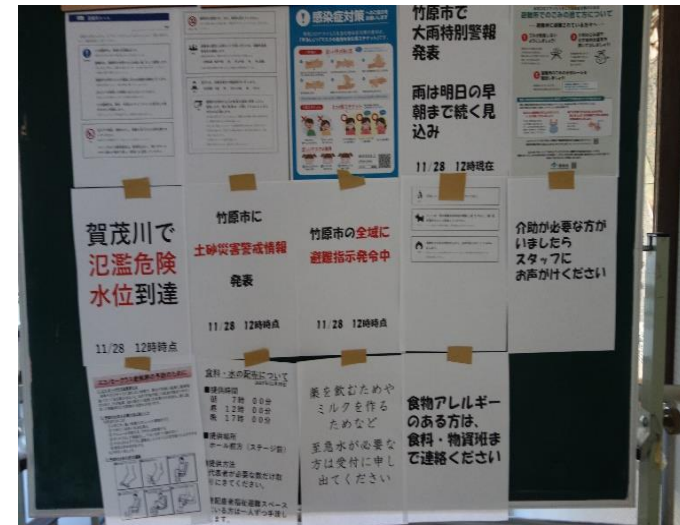
避難者の管理訓練では、避難者の登録票をもとに、避難者の人数、男女別の人数、要配慮者の数や特性を確認しました。



避難者のとりまとめの様子
(中通地域交流センター)

情報活動

情報活動訓練では、情報掲示板を設置し、避難者に提供する情報サンプルを、情報の種類ごとに整理して掲示するとともに、館内放送で、情報の伝達を行いました。



情報掲示板（左）と館内放送（右）の様子
(中通地域交流センター)

衛生環境整備

衛生環境整備訓練では、災害用トイレを設置する訓練を実施するとともに、その使い方や必要な備品などについて、参加者で意見交換をしました。



災害用トイレの設置の様子
(熊野西防災交流センター)

要配慮者への対応

要配慮者への対応訓練では、配慮が必要な避難者に対して、直接、どんな支援が必要かについての聞き取りを行い、避難所にあるもので、どう支援するかを検討し、実施しました。



要配慮者への対応の様子
(中通地域交流センター)

3-2 避難所開設・運営訓練（風水害）



避難所開設から運営までの一連の流れを、参加者で役割分担や連携しながら実施し、組織的な対応力の向上を図ります。

訓練の概要

本訓練は「訓練（実働）＋ふりかえり」形式で、次の内容を中心に行います。

実施内容	● 訓練 「避難所の開設」「運営組織の設置」「運営」 ● ふりかえり「訓練」をふりかえる	所要時間	140分
実施場所	● 風水害時の避難所施設（活用予定の避難スペース）		

訓練に向けた準備

訓練の実施に向けて「実施場所」を確保するとともに、次の必要な「人員」や「資料物品」を確保・準備します。

必要な人員	<p>次の役割を担う人をあらかじめ確保します（状況により兼務可能）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 司会者：1名 / 訓練当日の司会進行（必要に応じて写真記録等を行う）。 ● 進行役：1名 / 説明、各訓練の時間管理と進行。 ● 避難所開設・運営の予定メンバー / 避難所の開設・運営対応。 ● 避難者役：5名 / 配慮が必要な避難者の役（避難者役カードを活用）。 <p>※司会者や進行役は、地域の自主防災組織リーダー、広島県避難所開設・運営訓練アドバイザー、市町職員、施設管理者などをお願いします。</p>
必要な資料物品	<p>次の資料について、参加人数分を用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所開設・運営マニュアル：組織体制図、避難所レイアウト図、備品一覧、備蓄品一覧、建物の安全点検様式、避難所利用者登録票、退所届、避難者名簿、関係機関連絡先一覧表を含む※。 ● 状況付与資料：訓練時の災害状況等をまとめた資料。 <p>次の資料・物品について、必要な分を用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● （避難所開設用）筆記用具、感染症対策資材、避難所開設を示す看板等。 ● （情報活動用）情報掲示板、拡声器。 ● （環境整備用）電気、水道、電話、空調等の代替手段となる設備等。災害用トイレ、トイレの備品。 ● （要配慮者用）段ボールベッド、毛布等。 ● 提供する情報サンプル：情報板に掲示、拡声器等で連絡する情報サンプル。 ● 避難者役カード：避難者役の特性や要望をまとめたカード。 <p>※「避難所開設・運営マニュアル」については、広島県「避難所開設・運営マニュアル（標準版）」を活用できます。</p>

訓練実施の流れ

01 訓練概要の説明 所要：20分

【司会者】本訓練の目的と内容、スケジュール、訓練にあたっての前提条件説明する。
目的：地震時の組織での「避難所開設・運営の進め方」を理解すること

「避難所」の入り口（外部）に集合！

02 訓練「避難所の開設」 所要：30分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル ● 避難所開設用の備品

【進行役】「訓練開始」を宣言し、次の活動を役割分担しながら順番に行うよう呼びかける。

1. 避難所開設準備 10分（取り組み内容はp61参照）
2. 避難者の受付・誘導 20分（取り組み内容はp65参照）

避難所運営本部に集合！

03 訓練「避難所運営組織の設置」 所要：10分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル

【進行役】「避難所運営組織の設置」を宣言し、次の取り組みを実施するよう呼びかける。

1. 本部運営組織の人員の確保 5分（取り組み内容はp69参照）
2. 本部運営組織の確立 5分（取り組み内容はp69参照）

各班で役割分担して避難所運営を実施！

04 訓練「避難所運営」 所要：各50分

資料物品 ● 避難所開設・運営マニュアル ● 要配慮者用の物品
● 情報活動用の物品 ● 提供する情報サンプル
● 施設管理用の物品 ● 避難者役カード

【進行役】「各班で対応開始」と伝え、次の取り組みを実施するよう呼びかける。

- 1-1. 総務班「名簿作成と更新の手続き」 40分（取り組み内容はp73参照）
 - ▶ 避難者名簿の作成までの訓練（「02『名簿作成と更新の手続き』1～3」）を実施
 - ▶ 要配慮者の数と特性等の情報のとりまとめを、要配慮者支援担当班と協力して実施
 - ▶ 避難者役からの相談対応を受付で実施
 - ▶ 避難所運営会議で、避難者数と要配慮者の数、相談内容と対応状況を報告
- 1-2. 情報班「情報掲示板の設置と情報提供」 40分（取り組み内容はp75参照）
 - ▶ 物資配布についてのアナウンスは、物資担当班に配布方法や時間を確認して実施
 - ▶ 避難所運営会議で、情報活動の実施状況を報告
- 1-3. 生活環境管理班「ライフラインの点検 / 代替手段の確保」 40分（取り組み内容はp79～83参照）
 - ▶ ライフラインと代替設備の稼働状況をとりまとめ、避難所運営会議で報告
 - ▶ 災害用トイレの使用ルールを確認し、手書きでチラシを作成、情報活動班に掲示してもらう
 - ▶ 避難所運営会議で災害用トイレの設置状況と使用ルールを報告
- 1-4. 食料・物資班「備蓄物資と保管場所・受入れ場所の確認」 40分（取り組み内容はp95参照）
 - ▶ 食料・物資の配布ルールを確認し、情報活動班に報告
 - ▶ 避難所運営会議で備蓄物資の品目と数を報告
- 1-5. 避難者健康支援班「要配慮者への対応」 40分（取り組み内容はp111参照）
 - ▶ 訓練の「03『要配慮者への対応』」を実施
 - ▶ 要配慮者に直接聞き取り等をして、避難者の管理担当班と、要配慮者の数と特性を情報収集
 - ▶ 避難所運営会議で要配慮者の特性と、対応状況、必要な支援等について報告
2. 避難所運営会議の実施 10分
 - ▶ 運営組織の代表・副代表と、各担当班の班長が集まり、各担当班からの報告を実施

05 ふりかえり「訓練」をふりかえる 所要：30分

【進行役】次の流れで、参加者全員による訓練のふりかえりをする。

1. 各参加者の活動内容に対する気づきや反省点について意見交換してもらう。
2. 最後に、避難所開設・運営には、避難者を含めた地域住民、市町職員、施設管理者の協力・連携が不可欠であることを伝える。

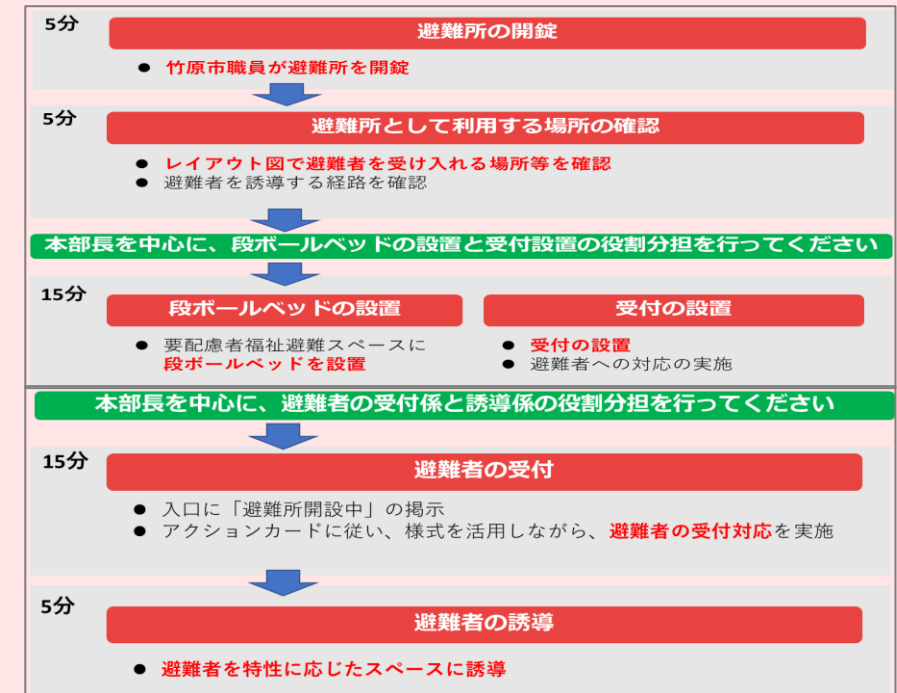
総合防災訓練：中通地域交流センターの実施例

中通地域交流センターでは、風水害発生前の、避難所開設から避難所運営までの一連のながれで訓練を実施しました。

- 訓練では、竹原市職員が施設の鍵を解除したあと、自治会の役員等が中心になって、避難者スペースの確認や受付の設置等の避難所開設準備を行いました。
- 避難所開設後、避難者役の受付を実施し、必要に応じて避難者に必要な配慮などを聞き取りつつ、適切なスペースに誘導しました。
- 要配慮者に対しては、手を取って避難者のスペースまで案内する、段ボールベッドを設置して、横になれるようにするなどの対応を行いました。
- 避難者を受け入れたあと、会長と副会長を中心に、避難所運営の役割分担を行い、各活動を実施しました。
- 要配慮者の状況等、各班で情報共有・協力しながら活動を行いました。

時間	所要	内容
13:00～13:10	10分	・ 訓練の全体の流れの説明 ・ 訓練の前提条件の説明
13:10～13:20	10分	【説明】 避難所開設訓練の流れ
13:20～14:05	45分	【訓練】 避難所開設 ・ 受付設置と利用準備 (25分) ・ 避難者の受入れと誘導 (20分)
14:05～14:10	5分	休憩
14:10～14:20	10分	【説明】 避難所運営訓練の流れ
14:20～15:05	45分	【訓練】 避難所運営 ・ 避難所運営委員会の立上げ (5分) ・ 各運営班の対応 (30分) ・ 避難所運営委員会運営本部会議 (10分)
15:05～15:15	10分	休憩
15:15～15:55	40分	ふりかえり ・ グループでの意見交換 (35分) ・ 発表
15:55～16:00	10分	今後の進め方

避難所開設・運営訓練スケジュール例



避難所開設訓練の実施の流れ例

訓練概要の説明

訓練を実施する前に、まず全体で、訓練の内容や、想定される風水害発生前の避難所開設時の状況（訓練開始時の条件）について、確認しました。

- まず、避難所開設・運営の全体の流れを確認したあとで、どこを訓練するのかを説明しました。
- 風水害の発生前に、どのような状況で避難所が開設されるかを説明しました。
- 避難所開設時の状況を踏まえ、地域住民、市町職員、施設管理者が、どのような動きをするかについての想定を説明しました。
- また、避難所開設時に、施設がどのような状況にあるかについての想定を説明しました。
- さらに、避難所開設時に、避難者がどのような状況にあるかについての想定を説明しました。

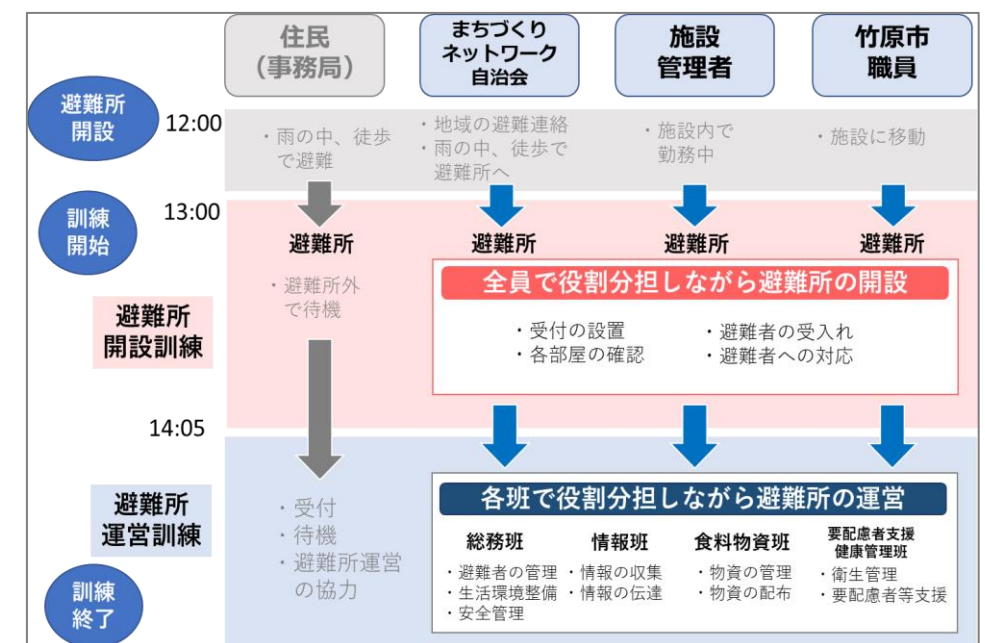
■災害の状況
避難所開設の連絡：11月28日（月）12時00分



■施設の状況
中通地域交流センターがたまたま休館しているところに、市から避難所開設の指示あり
※外は大雨が降っています

■避難・参集の状況
避難者の状況：開設直後、ちょうど避難者が避難してきたところ
聴覚障害者1名、乳幼児同行者1名、内部障害者1名
※避難者役は竹原市職員1名、広島県職員1名、SC社員1名が実施
役員の状況：地域での避難誘導等の対応を済ませ、避難所にやってきたところ
市職員の状況：避難所にやってきたところ
施設管理者の状況：施設管理者1名が施設で勤務していたところ

避難所開設時の状況例



避難所開設時の各主体の状況と活動の流れ例